

## 代表樹種 タイサンボク



〔撮影場所;若松区鴨生田〕

モクレン科 タイサンボク (泰山木) 別名//ダイサンボク、ハクレンボク 常緑広葉高木 樹高15~20m

タイサンボクは北米原産で、我国には1,873年(M6)に渡来したとされている。花木の花としては大きさが最大クラス(20~25cm)で芳香がある。花数が少なく葉が大きいこともあってあまり目立たない。北九州での花期は6月初旬。

モクレン科のものは花が大きく美しく芳香もあるのでたくさんの種類が利用されている。落葉樹ではコブシ、シデコブシ、ホオ(日本産)・モクレン(シモクレン)、ハクモクレン(中国原産)などがあり、常緑樹ではオガタマノキ、タイサンボクなどがある。



花の一つ一つは堂々たる立派さと気品がある。  
しかし注意して見ないと存在が確認されがたい。  
芳香はかなり強いので漂う範囲は広い。



注意して見ないと花が目立たない。

街路樹としての代表的路線

門司区 県道東本町線

小倉北区 浅野江南町1号線

戸畑区 千防小芝2号線

若松区 二島区画1号線